

日常の少し先に ある不可思議

↑こんなコンセプトの演劇表現をしています

例えば真夜中の窓の下を通過する光るものたち、あるいは心の中の開けてはいけない扉を、ノックノック、ノックノック、ノックする音がいつも聞こえていたあの頃の、も・の・が・た・り・

今の時代に合った新しい劇団スタイル

A Theatrical Parade

ウテン結構



<http://utenketkoh.com/>

ウテン結構◎第9回公演・公演企画書

お疲れ様です。これを書いている現在、2023年の、5月に入りまして、ウテン結構第8回公演『メメントの森』の、本番の月となりました。まあ佳境です。稽古準備等日々頑張っております。淡々と、いつもの通りに、ですが。

こちらは、12月公演の、ウテン結構第9回公演『メトロノームが叫んでる』

の企画書になります。半年以上先ですが、すでに役者さんからスケジュールを空けておく、との連絡をいただくこともあり、企画書を提出出来るようにしたいと思い、キーボードに向かっております。

いつものように、ですが、企画書の冒頭にご報告と、少しお手紙を書かせてください（長いです）。つまりこちら、関係者向けの企画書にて、役者さんが出演を考慮する際の材料として、また、所属される事務所へ提出する際のものとしてご活用くださることを、1番目に想定しています。

まず、現在のウテンの状況と、作戦の話です。まず、お知らせとして、長堀らの中間の、SPIRALMOONさんという劇団から、第6回公演作品の『雨の世界』を上演したいとの依頼が来まして、了承しました。6月です。いつも下北沢『劇』小劇場を拠点としてコンスタントに年2回の公演をしているカンパニーですので、雨さんの作品が、今年、奇しくも演劇の街、下北沢に進出することになりました。さて、ところが、スパイラルさんから重ねての依頼がありまして、女性4人芝居だった『雨の世界』、男性4人バージョンも書いてほしいとのこと。はい、頑張りました。そうしたら、女性4人の方も、台本から想定される年齢層が出演を予定している女優さんの年代と離れすぎているかも、ってことで、年齢層を上げたバージョンも執筆してほしい、とのこと。えー、頑張りました。ここまでで、『メメントの森』の稽古、制作と並行して、ほぼ新作みたいに2本の『雨の世界』を書いてきたことになります。実は、すべて全面改訂しておりまして、同じ会話を男言葉、女言葉に、ってことではなく、どうしても書き換えなくってはいけない設定、場面以外でも、まったく違う話題を話していたり、など、違う戯曲になっております。ただ、さらにスパイラルさんの方でさらに大きく書き直されちゃう可能性高し。でも、舞台美術を作るカンパニーですので、そのところなど、舞台が楽しみです。つくづく、第2シーズンのスタート作品『雨の世界』という作品は、カンパニーにとって、エポックメイキングな作品だなあ、と思っています。

さて、ところが、と言いますか、スパイラルさんが6月に雨さんの作品を上演してくれても、5月には『メメントの森』終わってしまうので、なんか、そこからウテンへお客様を引っ張ってくる、ってことも起きないし、んー、ウテンにはメリット少ないなあ、と思っていました。一方、実は最近、雨さん台本書きすぎてぶっ壊れてしまっていて、なんかずっと台詞書いていて、それが、だんだん形になってきてまして、それには12月の『メトロノームが叫んでる』に使える場面でもなく、なんか、書いている内に、無駄に1本新作が完成しそうになりました。変な話です。『晴耕雨読』ってタイトルなんですけど、それを、こちらから提案して、SPIRALMOONの11月（だったはず）の公演に、やりませんか？って提案をしたのです。だってそうすれば、11月のスパイラルの雨さんの『晴耕雨読』公演から、12月のウテンの『メトロノームが叫んでる』に、少しでもお客様を引っ張ってこれるかも、と。そして、ウテン、とうとう赤字ゼロの、黒は無理でも、収支がトントンで終われる公演が実現するかも、なんて思

いまして、・・・そんなわけで、SPIRALMOONにて、今年6月には『雨の世界』2バージョンと、11月には新作の『晴耕雨読』が掛かります。ちなみに、晴耕雨読、って言葉は、サブテレの赤井さんがある雨の日に、そうツイッターでつぶやいていまして、ああ、それで1本書けるな、って思ったら、本当に書き進んでしまっ、て実現しそうになったって訳なのです。サブテレを思い出せば分かる通り、あの本の量、つまり、赤井さん読書家なので。

それと、また別の話として、現在計画しているところとしては、6月くらいかな、今年の劇作家協会新人戯曲賞へは、『ストレイシープ』を応募予定です。雑誌のテアトロがやっている新人戯曲賞、こちらは秋くらい、には、『メメントの森』を応募予定です。どちらの賞レースも、上演歴があっても応募できる数少ない戯曲賞なので、まあ、やるだけのことは、何だってやりますって話です。

さて、ここまで、直接『メトロノームが叫んでる』の話題をしてきていませんが、あらためまして、この公演、第2シーズンのラストを飾る作品として、より大切に、強い作品、を創作、上演したいと考えています。SPIRALMOONっていう老舗の他劇団の力を借りて、新しい顧客を得る可能性もあり、公演の成功を期待してるところです。執筆は、実はまだこれからです。現在、この新作を書けるようになる為に勉強も必要で、今月の『メメントの森』が終わったら、頑張ろうとしている段階です。

繰り返しになりますが、ウテン結構、なるべく同じ出演者が継続して出続けることで、カンパニーそのもののファンを育てようと考えて活動をしています。同時に、出演者にとっても、同じ作家の、同じ演出家の、同じ顔ぶれの作品に継続して出演することは、同じお客様が何度か自分を目撃して覚えてくれる機会につながり、自分へのファンを獲得する機会になって行く、と考えていて、出来れば何度か出演してね、って提案をしてきています。今回も、まずは過去のウテン結構出演者へ、心からの願いを込めて、この企画書を送ります。ウテン結構への、又の出演を考えて下されば、大変に嬉しいです。本当に、本当に、本当に頑張りますので。とうとう第9回公演です。正直、ビックリしています。旗揚げの『アリス式海岸不思議岬邂逅』から今回で、5年を越えて6年目へと突入します。本当、ビックリですね。そして、ここが正念場だとも思っています。ウテン結構の未来を占う、試金石のような公演になると思うのです。あらためまして、検討、どうぞよろしく願いいたします。

1年後、5年後、10年後、自分がどんな地平に立っているかなんて分からないと思うのですが、ウテン結構、係わっている人のそういうことに、ちゃんと影響力を持つつもりで力を注いでいます。その時、あなたが立っている場所は、どんな場所でありたいですか？

それと、別の話題ですが、5月、月末、『メメントの森』、ぜひ完成品、本番を観て欲しいのですが、もちろんお仲間は、スケジュール合うのが他の日だけだったり、とか、稽古場に来たりして、ちょっとだけでも垣間見ても良いので、その際には遊びに来てくださいね。もう直前ですが。あっ、5月本番直前には長堀の誕生日とかありますよ(笑) 全員が揃っての稽古とか、まあウテンなんで、ご存じ、意外と少なかったりしますが、是非ぜひ。

ウテン結構 長堀博士

ウテン結構・第2シーズン◎今後の予定

於：ROPPONGI STRIPE'S SPACE

(六本木ストライプスペース)

〒106-0032 東京都港区六本木 5-10-33 ストライプハウスビル

第九回公演

『メトロノームが叫んでる』

作／演出：雨々アメ(仮)

12月15日(金)から21日(木)までの1週間 (仕込み日含む)



公演企画書

「絶対に当たる占い師」がそのギャラリーにはいると噂になっている。どうしても自分の未来を知りたい人が、次々とそこに訪れる。しかし、誰もがその「占い」をしてもらえるとは限らない。なぜなら、「絶対に当たる」とは、一種の「呪い」に他ならないから。例えば、回避できない不幸を告げられた時、彼ら、彼女ら、私たちは、果たして・・・

ある日、またいつものように一人の女性がこのギャラリーに現れる。彼女が知りたいのは、自分が見つかったガンで自分が死んだ後の世界、自分の子供が一体どんな目に遭うのか、どんな人生を辿るのか、そんな未来の出来事・・・

そしてまた、いつものように、一人の男性が・・・



◎スケジュール (案)

期間：令和五年師走式拾六日(金曜日)～参拾日(火曜日)迄

(2023 年 12 月 15 日(金)－12 月 21 日(木))

劇場入り： 12 月 15 日(金)に劇場入り、仕込み、場当たり等。12 月 16 日(土)に、ゲネプロ、公演初日。

公演日時： 12 月 16 日(土) 19：05

12 月 17 日(日) 12：05／17：05

12 月 18 日(月) 19：05

12 月 19 日(火) 15：05／19：05

12 月 20 日(水) 12：05／17：05

12 月 21 日(木) 15：05 (計 9 ステージ)

*日付は変わりません。出演者からの提案なども含め、もしかしたら調整をして時間に関しては変更の可能性もあります。その際には提案させていただきます。(2023 年 5 月時点の話として)

◎スタッフ (予定)

雨々アメ (仮) (作、演出)、長堀博士 (制作、舞台監督、照明、選曲等)、
大根田真人 (舞台監督助手、照明助手)、真夏果 (絵描き)、
齋藤瑠美子 (音響、作曲)、小田善久 (宣伝美術)、市川未来 (制作、当日運営)、ほか

◎料金

前売チケット ¥3500-

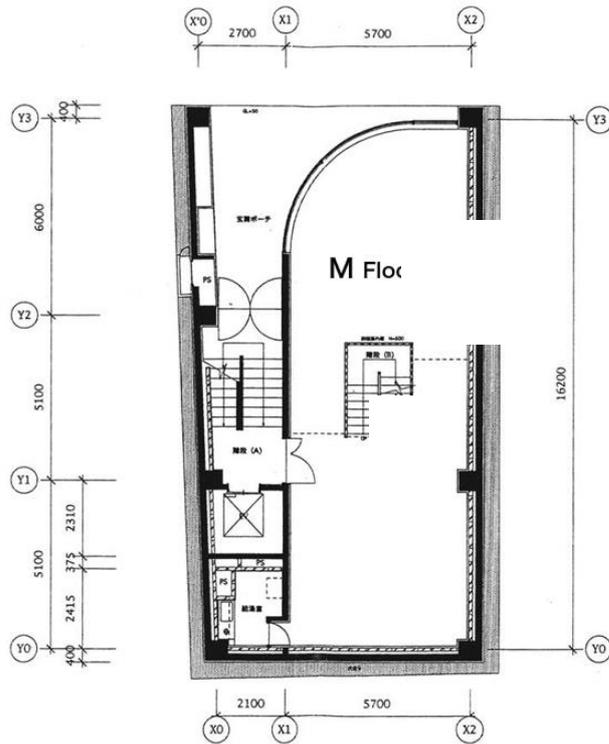
当日チケット ¥3800-

学生チケット ¥2500-

ペアチケット ¥6000- (要予約)

台本付きチケット ¥5000- (要予約)

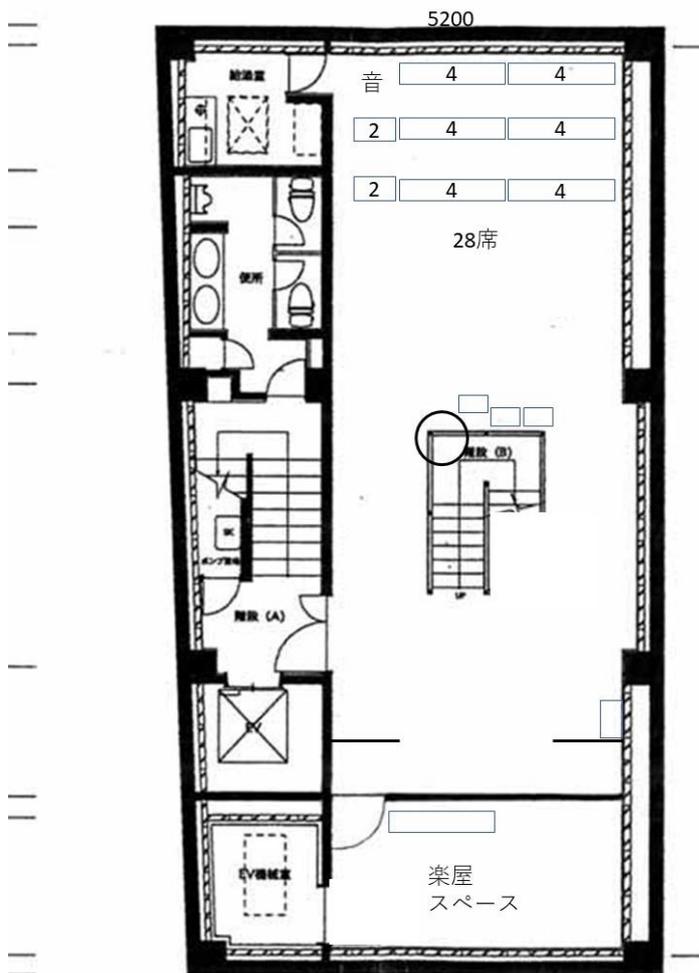
その他、台本販売、Tシャツ販売等あり。



ストライプハウススペースは、六本木ストライプハウスギャラリーの1階と地下1階の2つのスペースによる空間。

中央に階段がある為、演劇を上演する劇場としては、特殊な空間となる。

今回は、1階の半分をロビーとしてして使用し、半分を楽屋。劇場空間は、地階のみとなります。



1階



地階



【出演者の募集、ギャラ等について】

出演者のギャランティは、定額として¥15,000円です。また、チケットを個人的に売っていただいた21枚目からは、1枚につき1,000円ずつ加算されます。劇団員の岩澤繭を除くその他の方の、これまでの平均の集客数は30人前後で、平均で、25,000円程度のギャラの支払いが生じると想定して収支計画を立てています。

- * 出演に際しては、宣伝を目的に出演者の写真撮影を行います。主に、チラシの裏面、ネットでの宣伝に使用します。また、ゲネや本番にて、場合によっては稽古にて映像を撮影し、宣伝や配信で使用する可能性があります。終演後、舞台写真なども同じ扱いになります。配信の場合には、ユーチューブなどを利用して無料にし、この公演が、続く他の公演に新しいお客様が足を運ぶキッカケにしたいと考えていますので、画像の使用、映像の使用に際して、出演料以外のギャラが支払われることがないことをご確認ください。（これまでのチラシ、ホームページ等を参考にしてください。）ただし、万が一、今回撮影されたコンテンツが大きな収入を生む場合には、係わる出演者等へあらためて相談いたします。

◎劇団員

岩澤繭 長堀博士



◎オフィス

東京都練馬区桜台 4-41-10 グレイス桜台 101 ウテン結構シアターオフィス

最寄り駅：西武池袋線練馬駅、大江戸線成増駅より、徒歩10分くらい。

utenketkoh@gmail.com